

第二次大坂地区まちづくり計画



大坂地区全景

令和3年3月

大坂地区まちづくり協議会

1. 地区まちづくり計画とは

掛川市には、市民と行政、企業などの役割と責務を定めた「自治基本条例」と「まちづくり協働推進条例」があり、各自治区は、地区での活動や事業を進めるにあたって、これらの条例により、組織（まち協）や計画（まちづくり計画）を策定するよう決められています。

大坂地区でも将来を見込んだ大坂地区まちづくり計画を策定し、地域でやっている行事や事業が時代に沿っているかどうか、目的にあった事業だったか比較、検証が可能になります。また、計画に位置づけることにより、行政などからの支援を受けることが可能となり、より計画の実現に近づきます。

このように、まちづくり計画は地域活動のための「設計図」であり、「行動計画」と言えます。

2. 計画策定の目的

大坂地区まちづくり協議会は、平成27年7月に設立して、第一次大坂地区まちづくり計画（以下「旧計画」という。）を策定し、平成28年度から5年間の計画も今年度が最後の年となります。この間に、地域はどう変わったのかなど、旧計画を検証し、地区民を対象にアンケート調査も行ってきました。

第二次のまちづくり計画は、コロナ禍など社会環境が大きく変化する中、この豊かな地域を次世代に引き継ぎ、さらに住みよい大坂地区を創造していくために、私たち住民自ら旧計画で定めた地域の将来像の実現に向かって、新たな視点も加え、自らが取り組むべき活動の方針、内容などを定めた、令和3年度から5年間の第二次大坂地区まちづくり計画を策定しました。

3. 計画の進め方

第一次のまちづくり計画策定時に定めた、地域の将来像「豊かな里山、田園風景の中で、住んでよし・暮らして安心大坂地区」の実現に向けて、具体的に取り組む事業を盛り込んだ、概ね5年間を期間とする計画を策定し、その計画に基づき単年度事業を実施していきます。

毎年度、事業の実施状況を評価し、当初の事業目的が達成されているかなどの検証を行い、次年度以降の事業展開に生かしていきます。また、計画期間満了時に計画そのものの評価を行い、新たな地域課題の抽出も含め、次の計画に反映させます。

4. 計画期間

計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年とします。

5. 大坂地区の現状把握

(1) 大坂地区の概要

大坂地区は、掛川市の南部地域のほぼ中央、南体育館し～すぼの東北に位置し、かつては、農業が中心の地域でした。その後、町をあげて農業構造改善事業をはじめ、企業誘致、商業集積も実施され、地域の道路、公園などの整備が進み、大型店の進出や住宅の建設が盛んに行われ、農・工・商のバランスがとれた地域へと変貌しました。

また、東大坂区は、長年の懸案だった新川橋が撤去され、三井区の北側には、工業団地の造成、そして、大坂区では、大浜公園内の砂防ダム工事が進められています。

令和3年1月1日現在の東大坂地区の世帯数は1,879世帯、人口4,968人の地区へと発展しています。

一方、地区の特性として、西側には、歴史ある三井山砦と貞永寺があり、そして、大浜公園など、野山の自然環境も残っており、北側には茶畑、そして東側には田園風景が広がっています。また、地区内には、掛川市文化会館シオーネや大東図書館などの公共施設があり、大東区域内の中心的な形で発展してきた地区でもあります。



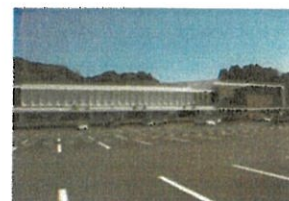
大浜公園



貞永寺



文化会館シオーネ



大東図書館

(2) 住民が考える主な地域の「魅力」と「課題」

※令和2年6月に実施した全戸対象のアンケート結果を基にしています。

<魅力>

- ・ 日常の買い物が便利である
- ・ 人情や気風が良い・地域の絆がある
- ・ 総合的にみて生活しやすい
- ・ 祭りなど文化、伝統がある

<課題>

- ・ 社会的基盤（道路・河川等）が充実していない
- ・ 高齢者に対する施策が充実していない
- ・ 災害に対する備えが充実していない
- ・ 医療が充実していない

6. 将来像と目標

◆将来像

～豊かな里山、田園風景の中で、住んでよし・安心して暮らせる大坂地区～

すべての地区住民が共に支え合い、子どもや孫が大坂地区に生まれて良かったと思えるまち大坂の実現に努めます。

◆分野別の在り方の見直し

第一次の分野別を今回統廃合や名称を変えるなど、分野別の在り方を見直ししました。

◆第二次分野別名称と主要目標（ビジョン）

分野別名称

主要目標（ビジョン）

[企画運営部会]（ふれあいと対話を築く明るいまち大坂）

[環境美化部会]（住みよい環境笑顔でふれあうまち大坂）

[地域活性化部会]（子どもからお年寄りまで笑顔あふれるまち大坂）

[健康福祉部会]（生まれて善し・老いて善し・心身ともに健康なまち大坂）

[教育文化部会]（子どもたちの笑顔あふれ三世代が集うまち大坂）

[防 災 部 会]（災害から命と暮らしを守り安心して暮らせるまち大坂）

[生活安全部会]（事件も事故もなく明るく住みよいまち大坂）

7. 分野別事業

【企画運営部会】

◆ビジョン：ふれあいと対話を築く明るいまち大坂

◆課題：各部会との連携を図りながら協議会の運営に努めるとともに、素早い情報発信や地区の様々な実態を把握し、中長期的な視野に立って施策を推進する必要がある。
また、協議会に積極的に参画する人材の発掘や育成に努める必要がある。

◆目標・具体的活動

①総合的な調整と企画及び普及のまちづくり

《具体的活動》 部会長会議の開催、各部会新規事業の調整、まち協の普及活動の充実、まち協への参加者拡大、大浜公園の整備と歴史の掘り起こしに伴う対策事業、他地区との統合の検討

②理想の姿の調査・研究によるまちづくり

《具体的活動》 先進地事例等まちづくり研修事業の実施

◆継続事業：部会長会議の開催、各部会新規事業の調整、先進地事例等まちづくり研修事業の実施、大浜公園の整備と歴史の掘り起こしに伴う対策事業

◆新規事業の計画

具体的な取組 (事業名)	事業概要	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
まち協の普及活動の 充実	まち協の認知度がまだ不足しているため、地区民にまち協の存在と活動を広く普及していく。	実施				→
まち協への参加者拡大	まち協事業への参加を促進するとともに、各部会事業企画スタッフの参加者拡大に努める。	実施				→
他地区との統合の検討	小学校区単位のまち協が理想のため、将来、統合に向け検討する。	調整	調整	検討		
(部会預かり事業) 地域勉強会の検討	企画運営部会で預かりとなった地域勉強会の検討を他の部会に移行できるように今後検討する。	検討				
地域公園整備の検討	企画運営部会で預かりとなった地域公園整備を大浜公園整備等の中で位置づけられるか検討する。	検討				

【環境美化部会】

- ◆ビジョン：住みよい環境笑顔でふれあうまち大坂
- ◆課題：環境美化活動に地域の住民意識は高いものの、山林等への不法投棄がある。また、有害鳥獣被害もあり、その対策を引き続き行う必要がある。
- ◆目標・具体的活動
 - ①不法投棄をなくし、住みよい環境づくり
 - 《具体的活動》 不法投棄現場回収作業及び防止事業の実施、狩猟免許取得の推進（有害鳥獣対策）
 - ②環境美化に対するさらなる意識づくり
 - 《具体的活動》 環境改善の検討
- ◆継続事業：不法投棄現場回収作業及び防止事業の実施、狩猟免許取得の推進（有害鳥獣対策）
- ◆新規事業の計画

具体的な取組 (事業名)	事業概要	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
環境改善の検討	不法投棄やポイ捨てゴミの軽減活動の推進を検討する。	検討	実施			→

まち協活動の一コマ



お芋の体験学習



敬老会



みんなでやらざー芸能まつり



大浜公園の整備対策
検討事業の現地確認



三世代交流イベント



グラウンドゴルフ大会

三十三観音様案内看板設置

【地域活性化部会】

◆ビジョン：子どもからお年寄りまで笑顔あふれるまち大坂

◆課題：子どもや大人のふれあいの場所等が不足している。また、自然を活かしたイベントや若者が参加できるイベントが少ないので、みんなで気楽にできるスポーツを普及していく必要がある。

◆目標・具体的活動

①ふれあいの場づくり

《具体的活動》 お芋の体験学習の実施、農業体験の検討、遊休土地の有効活用の検討、大浜公園の活性化の検討、みんなでやらざー芸能まつりの開催

②スポーツを通じた健康づくり

《具体的活動》 グラウンドゴルフ大会・ゴルフ大会の開催、ニューイヤーウォーキングの実施、スポーツ大会の検討、スポーツ教室の検討、ウォーキング活動の普及

◆既存事業：グラウンドゴルフ大会・ゴルフ大会の開催

◆継続事業：お芋の体験学習の実施、ニューイヤーウォーキングの実施、みんなでやらざー芸能まつりの開催

◆新規事業の計画

具体的な取組 (事業名)	事業概要	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
大浜公園の活性化の検討	魅力ある大浜公園を活性化し、花見祭りなどのイベント等を検討する。	検討	→ 実施	提案		
農業体験の検討	芋の体験学習事業や稲作体験学習などの農業体験を企画し、検討する。		検討	→ 実施		
遊休土地の有効活用の検討	地域に点在する遊休土地を活用して各種イベントを検討する。			検討	実施	
スポーツ大会の検討	健康寿命を伸ばすための体力測定やスポーツ大会の開催を検討する。			検討	→ 実施	
スポーツ教室の検討	健康運動の充実として講師を招いたスポーツ教室の開催を検討する。	検討	→ 実施			
ウォーキング活動の普及	スポーツを通じた健康づくりとしてウォーキング活動を普及していく。	検討	→ 実施			

【健康福祉部会】

- ◆ビジョン：生まれて善し・老いて善し・心身ともに健康なまち大坂
- ◆課題：高齢者に対する交通手段が十分ではなく、独居老人等への生活支援も必要である。
また、サロン等の参加者を拡大し、各世代の交流を図り、より多くの人の居場所づくりを提供する対策が必要である。
- ◆目標・具体的活動
 - ①安心して暮らせる交流の場や居場所づくり
 - 《具体的活動》 敬老会の開催、生活支援車両の運行検討事業、サロン等に必要の人材協力者の発掘、各区サロン運営への支援、サロンへの参加者拡大、子どもと高齢者の交流の場づくり
 - ②地域の見守りで支え合うまちづくり
 - 《具体的活動》 高齢者支援の検討、独居老人対策の検討
 - ③いきいき健康づくり
 - 《具体的活動》 いきいき健康体操教室の実施
- ◆既存事業：敬老会の開催、いきいき健康体操教室の実施
- ◆継続事業：生活支援車両の運行検討事業、サロン等に必要の人材協力者の発掘、各区サロン運営への支援
- ◆新規事業の計画

具体的な取組 (事業名)	事業概要	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
サロンへの参加者拡大	サロンの参加者がまだ不足しているため、地区民にサロンの存在と活動を広く普及していく。	検討	実施			→
高齢者支援の検討	地域の見守りを充実させ、高齢者支援を検討する。		検討	実施		→
子どもと高齢者の交流の場づくり	子どもから高齢者まで気軽に集える場（行事）を開催し、交流を深める。	検討	実施			→
独居老人対策の検討	独居老人を地域で支え、孤立させないよう対策を検討する。			検討	実施	→



【教育文化部会】

- ◆ビジョン：子どもたちの笑顔あふれ三世代が集うまち大坂
- ◆課題：三世代交流イベント等を通じて、世代間交流を深めることができたが、今後もさらに三世代間の交流を深める必要がある。また、大浜公園の整備事業を通じて、文化面での充実を図るとともに、子どもたちの笑顔があふれるように大浜学園の活動を支援していく必要がある。
- ◆目標・具体的活動
 - ①子どもたちの笑顔あふれるまちづくり
 - 《具体的活動》 三世代交流イベントの開催、大浜学園への支援（夏季集会・イベント）、子育て講演会の検討
 - ②地域の歴史・文化を学び伝えるまちづくり
 - 《具体的活動》 地域の歴史・文化の伝承事業、ふるさと再発見の企画
 - ③日常的に三世代が交流するまちづくり
 - 《具体的活動》 遊びの場づくりの検討、ラジオ体操の検討
- ◆既存事業：三世代交流イベントの開催、大浜学園への支援（夏季集会）
- ◆継続事業：地域の歴史・文化の伝承事業
- ◆新規事業の計画

具体的な取組 (事業名)	事業概要	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
子育て講演会の検討	テレビ寺子屋的な大人向けの子育て講演会を検討する。		検討	実施		
遊びの場づくりの検討	子どもたちが遊ぶことができるように遊びの場づくりや自然に親しむことができる環境づくりを検討する。	検討	実施			→
ラジオ体操の検討	夏休みのラジオ体操を充実するように検討する。		検討	実施		
ふるさと再発見の企画	地域の歴史・文化を学び伝えるまちづくりとして、ふるさと再発見を企画する。	検討	実施			→
大浜学園への支援 (イベント)	大浜学園が取り組んでいる活動を支援していく。	検討	実施			→

【防災部会】

- ◆ビジョン：災害から命と暮らしを守り安心して暮らせるまち大坂
- ◆課題：大地震や大雨による突発災害などが心配されており、災害時の対応や緊急時の備えも求められている。また、近所付き合いも希薄のため、減災や支え合う地域の絆づくりが必要である。
- ◆目標・具体的活動
 - ①災害に強いまちづくり
 - ≪具体的活動≫ 組単位の防災勉強会の促進事業、大坂地区防災計画の策定事業、防災対策強化の検討、防災備品の充実、時代に合った防災対策の検討、防災訓練の見直し、大雨による水害防止対策の検討
- ◆継続事業：組単位の防災勉強会の促進事業、大坂地区防災計画の策定事業
- ◆新規事業の計画

具体的な取組 (事業名)	事業概要	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
防災対策強化の検討	災害に強いまちづくりとして、防災対策の強化を検討する。	検討	実施			→
防災備品の充実	時代に合った必要な防災備品を備蓄し、充実を図る。	検討	実施			→
時代に合った防災対策の検討	災害に強いまちづくりとして、時代に合った防災対策を検討する。	検討	実施			→
防災訓練の見直し	形式化している防災訓練を災害時に生かせるよう見直しする。	検討	検討	実施		→
大雨による水害防止対策の検討	災害に強いまちづくりとして、突発災害などの大雨による水害防止対策を検討する。	検討	実施			→



pixta.jp - 23787354

【生活安全部会】

- ◆ビジョン：事件も事故もなく明るく住みよいまち大坂
- ◆課題：忍び寄る悪魔の手や痛ましい交通事故は一人の力では防げない。皆さんのその
 勇気ある行動力が求められている。また、標識・看板の増設など交通環境の改
 善も必要である。
- ◆目標・具体的活動
 - ①みんなで防犯に取り組む安全なまちづくり
 - 《具体的活動》 空き家の現状調査の実施、防犯（青色）パトロールの検討、見守
 り活動の充実
 - ②歩行者もドライバーも明るく接するまちづくり
 - 《具体的活動》 交通安全教育の実施及び意識の普及、交通安全上の危険箇所等の
 点検、交通環境の改善の検討、交通安全PRの検討、世代別交通
 安全教室の検討
- ◆継続事業：空き家の現状調査の実施、交通安全教育の実施及び意識の普及、交通安
 全上の危険箇所等の点検
- ◆新規事業の計画

具体的な取組 (事業名)	事業概要	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
防犯（青色）パト ロールの検討	高齢者や子どもたちに忍 び寄る不審者への対策と して、地区を挙げて防犯 （青色）パトロールを検 討する。	検討	実施			→
見守り活動の充実	現在地区民有志により行 われている防犯と交通安 全を兼ねた見守り活動を 充実していく。	実施				→
交通環境の改善の検 討	通学路の分析や事故が起 きにくい交通環境への改 善を検討する。	検討				
交通安全PRの検討	年4回の交通安全運動の 際、商業施設等で交通安 全グッズの配布など交通 安全PRを検討する。	検討	実施			→
世代別交通安全教室 の検討	世代別に分かりやすい講 習会などの交通安全教室 の開催を検討する。		検討	実施		→

参考資料

- 1 「大坂地区まちづくりアンケート」集計結果
- 2 第二次大坂地区まちづくり計画の策定経過
- 3 施策体系図 ～ビジョンと実践目標～
- 4 大坂地区まちづくり協議会組織図
- 5 大坂地区まちづくり計画策定委員会名簿
- 6 第二次大坂地区まちづくり計画策定各部会ワークショップ参加者名簿



大坂地区まちづくりアンケート集計結果

◇アンケート概要

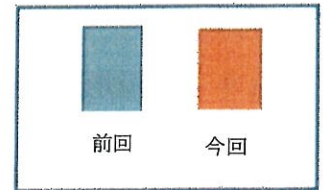
第二次大坂地区まちづくり計画策定のためのアンケートを令和2年6月から7月にかけて実施した結果がまとまりました。皆さんが日ごろ大坂地区をどのように見ているか調査したものです。平成27年（5年前）にも同じ内容でアンケートを行っています。前回と比較も行いました。

〈アンケート集計結果〉

○対象戸数：1,372戸

○有効回答数：1,158戸（大坂区473戸、三井区301戸、東大坂区384戸）

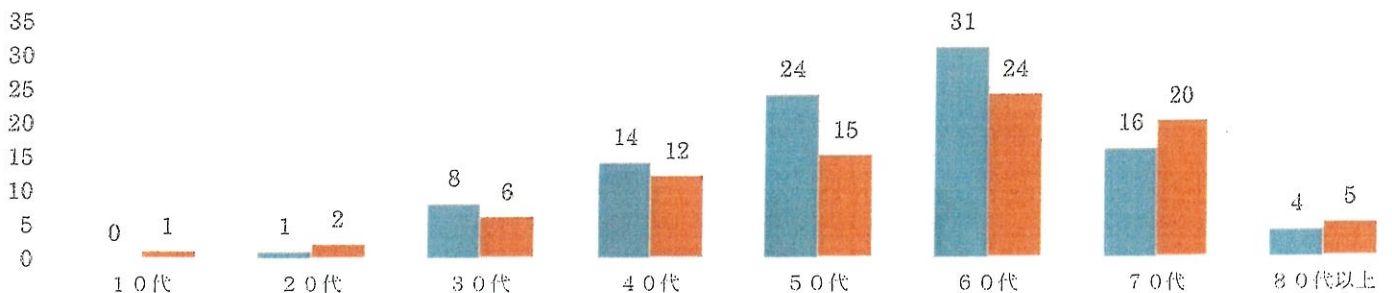
○回収率：84.4%（前回：83.5%）



◆あなたの年代は？

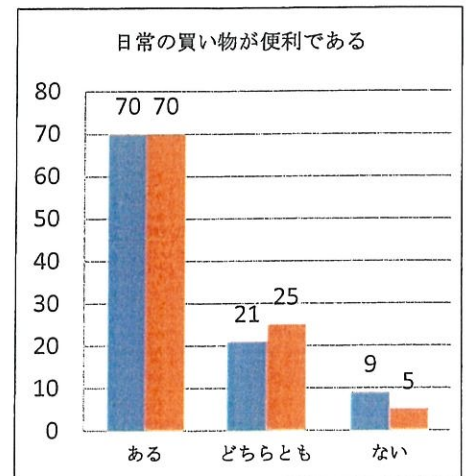
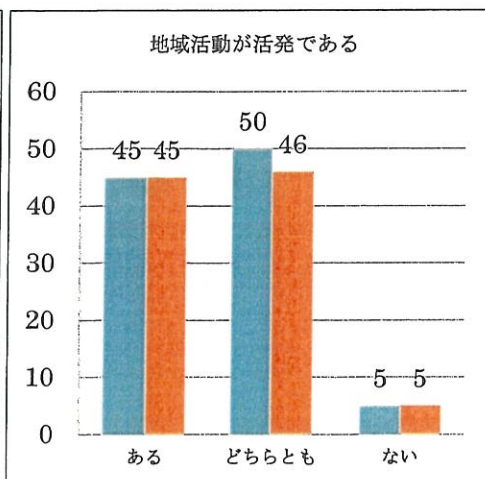
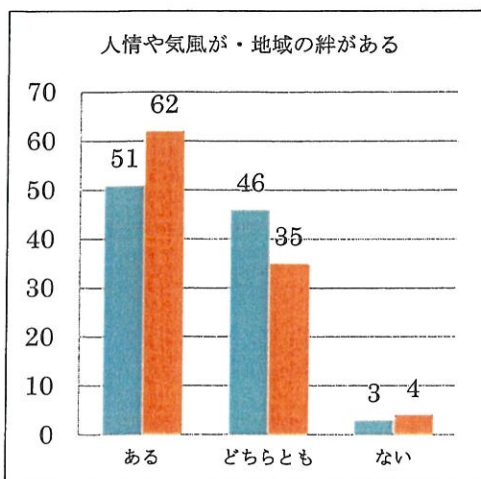
年代別では、40～60代が76%を占めています。また、今回は10代の方が5名アンケートにご協力していただきました。

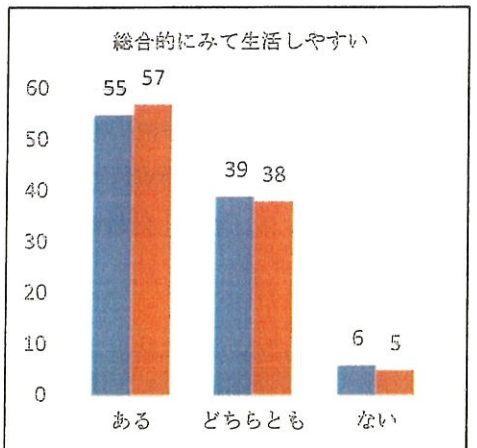
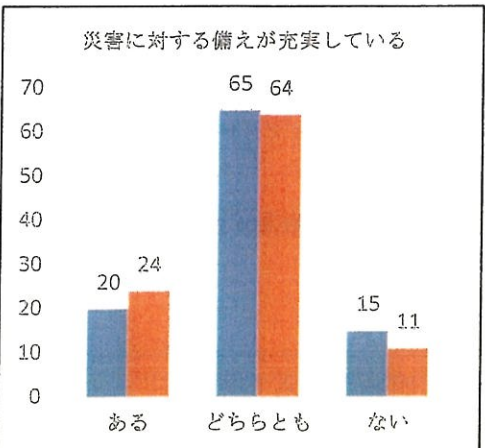
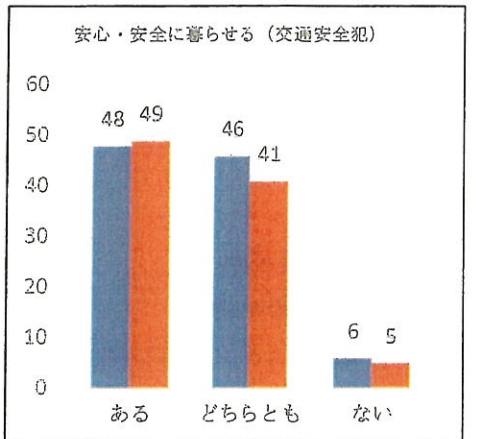
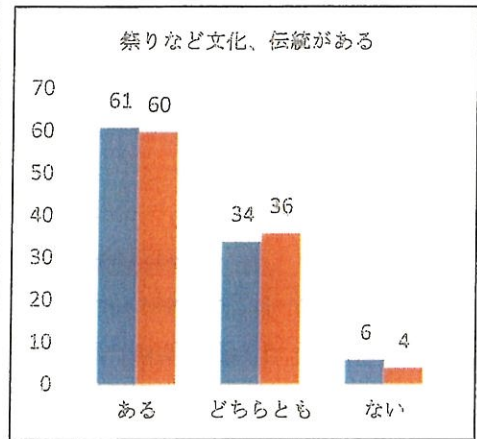
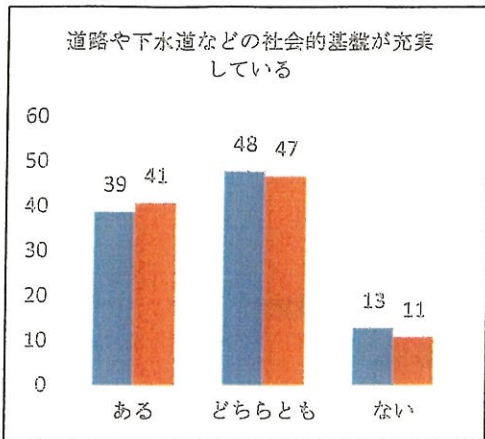
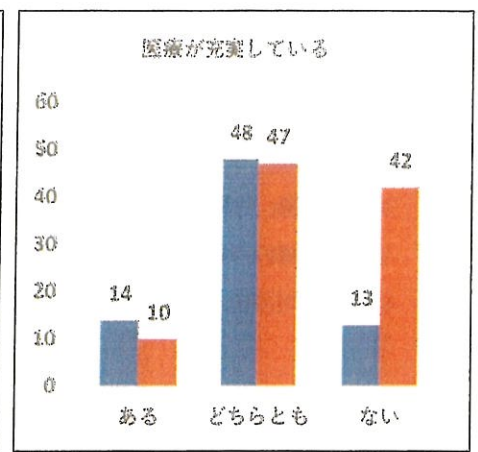
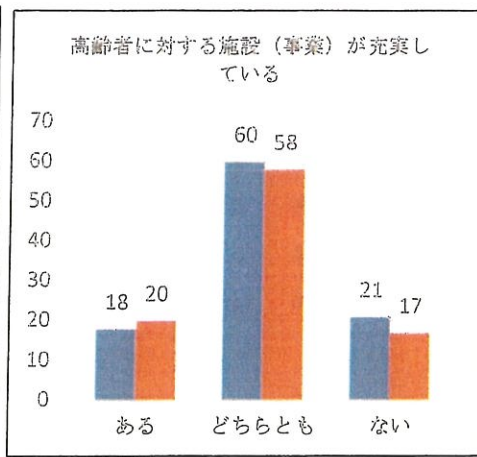
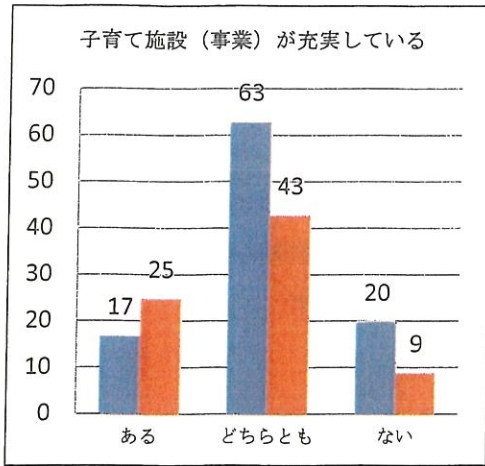
※単位：%



◆大坂地区の現状について、どのように感じますか？

※ 複数回答あり





「人情や気風がよい・地域の絆がある」、「子育て施設（事業）が充実している」が前回に比べて増えています。他の項目は変化していません。

◆大坂地区で将来も安心して住み続けていくため、どのような点に力を入れるべきか？

項目	前回	今回
防災対策・防災活動	546	608
交通安全・防犯活動	372	437
子育て・教育・保育	357	365
高齢者施策	489	539
健康活動	236	228
環境活動	212	215
定住促進（少子化対策）	257	301
農業・商業の活性化	281	287

合計人数（複数回答）

「防災対策・防災活動」・「交通安全・防犯活動」・「高齢者施策」・「定住促進（少子化対策）」等が増えています。大坂地区を取り巻く課題であることがわかります。

【主な意見】

(1) 防災対策・防災活動

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 津波対策、避難場所、備蓄、防災用具の整備 | 78件 |
| 2. 防災意識、行動について | 47件 |
| 3. 防災訓練の内容改善（より具体的に） | 29件 |
| 4. 台風、大雨による川の氾濫について | 25件 |

(2) 交通安全・防犯活動

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1. 道路環境等の整備 | 42件 |
| 2. 道路・公園の暗がり解消（街灯、防犯灯、カメラ等の設置） | 39件 |
| 3. 防犯パトロール、見守り隊や交通安全活動の実施と継続 | 38件 |
| 4. 空き家・オレオレ詐欺・高齢者の運転等 | 20件 |

(3) 子育て・教育・保育

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 子ども園・学童保育等の充実や待機児童解消 | 23件 |
| 2. 公園や安全に遊べる施設の充実 | 20件 |
| 3. 地域での触合いの場の環境作りや施設の充実 | 29件 |

(4) 高齢者施策

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1. 交通手段（生活支援車両や免許返納後の移動手段） | 54件 |
| 2. 地域交流の場や見守りサポートの強化 | 45件 |
| 3. 高齢者介護施設、老人ホーム、デイサービスの充実 | 38件 |

(5) 健康活動

- | | |
|--------------------------|-----|
| 1. 医療機関の充実 | 24件 |
| 2. 体操やスポーツ、ウォーキング等の健康づくり | 18件 |
| 3. 健康講座、教育の実施 | 17件 |

(6) 環境活動

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. ごみのポイ捨て、不法投棄、ごみ回収の改善 | 19件 |
| 2. 除草、草刈りの実施方法の見直し | 12件 |
| 3. 花木の育成や美化活動について | 4件 |

(7) 定住促進（少子化対策）

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. 子育て支援などの子育て環境の充実 | 30件 |
| 2. 雇用情報の提供と雇用の創出 | 25件 |
| 3. 空き家の有効活用や住宅事情の改善 | 16件 |
| 4. 地域交流や出会いの場の拡大 | 8件 |

(8) 農業・商業の活性化

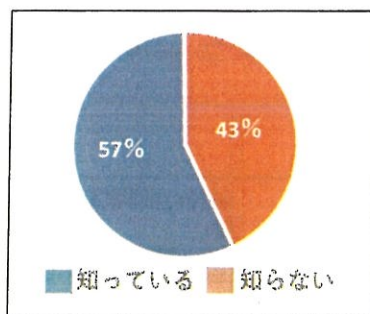
- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1. 商業施設の整備や店舗の充実（ショッピングセンター等） | 40件 |
| 2. 耕作放棄地や遊休地の有効活用 | 16件 |
| 3. イベントの開催（自産地商品のPRや農業体験等） | 14件 |

- ◆ 防災対策・防災活動では、前回に比べて防災訓練内容よりも防災意識、行動が増えています。また、地震以外の台風や大雨による河川の氾濫対策が新たに課題として出てきました。
- ◆ 交通安全・防犯活動では、空き家問題、オレオレ詐欺等が新たに課題として出てきました。
- ◆ 高齢者施策では、生活支援車両の運行や免許返納後の移動手段が新たに課題として出てきました。
- ◆ 定住促進(少子化対策)では、子育て支援などの子育て環境の充実が前回に比べて増えています。また、空き家の有効活用や住宅事情の改善が新たな課題として出てきました。
- ◆ その他の項目は、前回と比べてあまり変化はありませんでした。

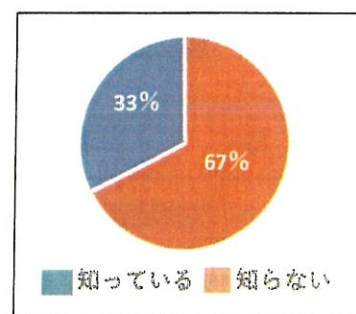
◆大坂地区まちづくり協議会についてお聞きしました。

大坂地区まちづくり協議会は認知度が低い？

まちづくり協議会



協議会の活動



大坂地区まちづくり協議会は発足して5年が経過しました。まだまだ知られていないことがわかり、もっとPRをしなければならないと感じています。

◆まちづくり協議会に対する意見・要望 【主なもの】

- ・区と重複しないことと区民の役に立つことを望む。
- ・参加したくなる行事が必要である。
- ・まち協が3区をまとめ、組織的な防災訓練などを行ってはどうか。
- ・行政の下請けや代替機関ではなく、地域住民の要望に基づく事業にする。
- ・「まち協があるから何かやらなくては」の思考から、どうしたら小区を助けるための発想転換が必要では。
- ・3区との区分けが分からない。
- ・3区合同の活動ではなく、必要な事業に予算を取るべき。
- ・3世代交流イベントや福祉事業などの現行のイベントを3区で行うメリットがない。
- ・区で活動ができない活動を要望する。
- ・何をやっているのか分からない。PRが足りない。
- ・まち協の事業内容を知ってもらう。普及活動をする。
- ・現状、行政がやることを丸投げされている感がある。
- ・ネットを利用してPRしては。パンフレットなど。
- ・市、まち協、区の上下関係、事業の決定など、皆さんに分かるようにする。
- ・活動内容に成果が出ていないのでは。
- ・まち協は、皆さんの知らないところで市の助成金を使い、勝手に行っているように映ります。
- ・役員の人選は、区役員以外から選出する。やる気のある方を探す。
- ・役員は区の役員と兼務しており大変。区の役員を終えた方がやる形にしたらどうか。
- ・役員の任期、人選を考える。
- ・男性、女性が参加しやすい活動にしてほしい。
- ・住民の意見交換会とまち協の活動報告を兼ねた集会を定期的で開催してほしい。
- ・具現化したものを公示していただきたい。
- ・老若男女の意見を取り入れ、展開してほしい。
- ・地区意見、要望を取り上げ、展開できるような仕組みがほしい。どの世代でも住みやすい環境を。
- ・まち協と各組との生の声を聴く会合を周り番で行う。
- ・活動の広報、区民との意見交換がほしい。
- ・まち協、個人のプライバシーのバランスを取ることを望む。

※その他多数のご意見・要望がありました。

————— ご協力ありがとうございました —————

第二次大坂地区まちづくり計画(後期計画)策定経過

年	月	日	項目	内容
令和 2年	2	13	大坂地区区長連絡会	会長と理事区長との関係、7部会の組織、後期計画策定委員会メンバーの検討
	3	6	大坂地区区長連絡会	後期計画策定スケジュールの検討、アンケート(案)の資料確認(他地区のアンケート)
		7	正副会長、部会長、企画広報部会副会長への説明	3/7実施の三十三観音様案内看板設置後に地区センター会議室にて後期計画策定スケジュール及び過年度事業の検証と後期計画策定に伴う部会の在り方などの意見書作成、新旧正副部会長の引継ぎの開催について協議
	4	10	大坂地区区長連絡会	7部会の組織(案)の検討
		15	第1回企画広報部会	企画広報部会を開催し、総会の開催方法の検討と策定委員会の正副委員長を選出 委員長～相澤会長、副委員長～岩瀬副会長、八木副会長
		21	総会及び第1回策定委員会(書面決議方式)	総会は書面決議方式で実施。第1回策定委員会も書面を送付して策定スケジュールを示し、了解を求める方式で開催
	5	15	大坂地区区長連絡会及び第2回企画広報部会	7部会の組織の在り方、アンケート案、各部会の今年度事業計画の進め方、部会長会議資料の検討
		25	第1回部会長会議	部会長に前期実施計画の部門別検証及び後期計画の部門別ワーキングについて説明。また、策定アンケート(案)について検討
		27	第2回策定委員会(書面方式)	アンケート調査内容の検討及び決定 委員の15名は、5/15の企画広報部会、5/25の部会長会議開催時に検討するため、5/27は書面方式による開催とし、他の委員に検討結果を送付
	6	中旬	アンケートの実施	対象～全世帯 回収期限～7月5日 1,158戸回答(84.4%)
	6 ～ 12		大坂地区区長連絡会及び各部会後期計画見直しワーキング	大坂地区区長連絡会開催時に検討7回。各部会で本年度事業を実施するとともに後期計画見直しのワーキングを開催。地域振興部会5回、健康福祉部会6回、教育文化部会6回、防犯防災部会6回、交通安全部会6回、体育部会6回、企画広報部会7回、毎月開催
	9	3	第3回策定委員会及び第2回部会長会議	部会の在り方及び組織の人事(案)について、委員から意見を求め、各部会が進めている後期計画に反映させる。終了後に、第2回部会長会議を開催し、今後のワークショップの仕方を説明
		中下旬	部会長への中間報告	アンケート結果の提案事業を各部会ワークショップ時に添付して検討
	10	16	第3回部会長会議	各部会の名称及び構成団体候補検討結果、今後の各部会ワークショップの進め方を説明
	11	16	第4回部会長会議	各部会の新規事業計画検討結果表、各部会の調整、後期まちづくり計画イメージの説明
		29	大浜公園の整備と歴史の掘り起こしに伴う対策検討委員会	後期計画に反映するため対策検討委員会のメンバーで大浜公園の現地を確認
12	14	第5回部会長会議	各部会の構成候補検討結果、今後の進め方とスケジュールを説明	

令和 3年	1	11	第10回企画広報部会	第二次大坂地区まちづくり計画素案の検討
		15	大坂地区区長連絡会	第二次大坂地区まちづくり計画素案修正後の検討、策定委員会の開催方法の検討、臨時総会の開催日の検討
		19	第6回部会長会議	第二次大坂地区まちづくり計画素案の説明
		25	第4回策定委員会(書面方式)	第二次大坂地区まちづくり計画素案の検討及び決定 委員の15名は、11日の企画広報部会、19日の部会長会議開催時に検討するため、1/25は書面方式による開催とし、他の委員に検討結果を送付
	2	12	大坂地区区長連絡会	来年度各部会長の選出調整、臨時総会の開催方法の検討(書面決議方式となる)
	3	8	臨時総会(書面決議方式)	第二次大坂地区まちづくり計画(案)及び規約一部改正(案)の審議
下旬		市への報告・公表		



策定委員会の様子



部会長会議の様子



ワークショップの様子



第二次大坂地区まちづくり計画の施策体系図 ～ビジョンと実践目標～

将来像：豊かな里山、田園風景の中で、住んでよし・暮らして安心大坂地区

部会	部会ビジョン	実践目標	具体的活動
企画運営	ふれあいと対話を築く明るいまち大坂	総合的な調整と企画及び普及のまちづくり	部会長会議の開催 各部会新規事業の調整 まち協の普及活動の充実、まち協への参加者拡大 大浜公園の整備と歴史の掘り起こしに伴う対策事業 他地区との統合の検討 先進地事例等まちづくり研修事業の実施
		理想の姿の調査・研究によるまちづくり	不法投棄現場回収作業及び防止事業の実施 狩猟免許取得の推進(有害鳥獣対策)
環境美化	住みよい環境笑顔でふれあうまち大坂	不法投棄をなくし、住みよい環境づくり 環境美化に対するさらなる意識づくり	環境改善の検討
地域活性化	子どもからお年寄りまで笑顔あふれるまち大坂	ふれあいの場づくり	お芋の体験学習の実施 農業体験の検討、遊休土地の有効活用の検討 大浜公園の活性化の検討 みんなでやらざー芸能まつりの開催
		スポーツを通じた健康づくり	グラウンドゴルフ大会・ゴルフ大会の開催 ニューイヤークロージングの実施 スポーツ大会・スポーツ教室の検討、ウォーキング活動の普及
健康福祉	生まれて善し・老いて善し・心身ともに健康なまち大坂	安心して暮らせる交流の場や居場所づくり	敬老会の開催 生活支援車両の運行検討事業 サロン等に必要の人材協力者の発掘 各区のサロン運営への支援、サロンへの参加者拡大
		地域の見守りで支え合うまちづくり	子どもと高齢者の交流の場づくり 高齢者支援の検討 独居老人対策の検討
		いきいき健康づくり	いきいき健康体操教室の実施
教育文化	子どもたちの笑顔あふれる三世代が集うまち大坂	子どもたちの笑顔あふれるまちづくり	三世代交流イベントの開催 大浜学園への支援(夏季集会・イベント) 子育て講演会の検討
		地域の歴史・文化を学び伝えるまちづくり	地域の歴史・文化の伝承事業 ふるさと再発見の企画
		日常的に三世代が交流するまちづくり	遊びの場づくりの検討 ラジオ体操の検討
防災	災害から命と暮らしを守り安心して暮らせるまち大坂	災害に強いまちづくり	組単位の防災勉強会の促進事業 大坂地区防災計画の策定事業 防災対策強化の検討 防災備品の充実 時代に合った防災対策の検討、防災訓練の見直し 大雨による水害防止対策の検討
生活安全	事件も事故もなく明るく住みよいまち大坂	みんなで防犯に取り組む安全なまちづくり	空き家の現状調査の実施 防犯(青色)パトロールの検討 見守り活動の充実
		歩行者もドライバーも明るく接するまちづくり	交通安全教育の実施及び意識の普及 交通安全上の危険箇所等の点検、交通環境の改善の検討 交通安全PRの検討、世代別交通安全教室の検討
広報編集委員会		豊かな情報、素早い周知のまちづくり	広報誌の充実